



育苗キューブ

ルートマックス

育苗初期に最適

Cultilene 
a Saint-Gobain company

合資会社 農業技術研究会

〒960-0101 福島県福島市瀬上町東町 1-5-8 TEL:024-554-5146 FAX:024-554-5173
e-mail:atr-net@spa.nifty.com www.atr-net.com



カルチレン社のルートマックスは、トマト生産者用に開発された新しいロックウールキューブ製品です。苗が発根した後、根の成長に重要な役割を担うのがキューブです。根を守り、苗の成長とバランスに最適なコントロールを提供します。

カルチレン社のルートマックスは、今までのロックウールキューブ製品には見られなかった、均一的な根の成長を促進します。さらに、キューブの底部の繊細な根をガードカには優れており、既存の製品の5～25%以上の根の発育に貢献します。

根の発育のコントロールマネジメント

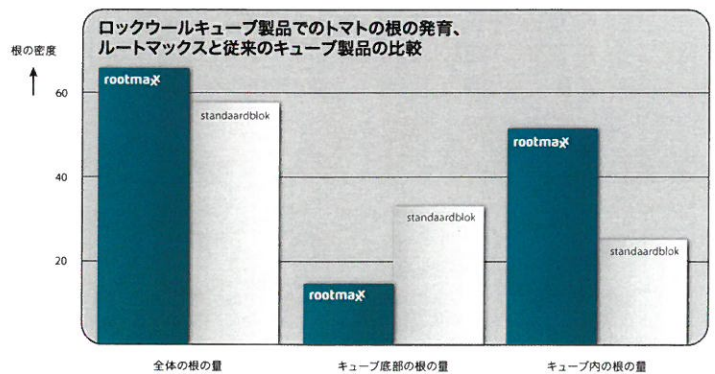
繰り返し行われた幅広いリサーチの結果、根の量が通常のキューブ栽培より5～25%以上も多いことが証明されました。キューブ底面での根の量は平均約20%ほど少なめですが、側面は上部から下までびっしりと根で覆われていました。キューブ内部の根の発達は均一で、苗のバランスをより良くコントロールできます。

X-ファイバー テクノロジーとは？

カルチレン社のルートマックスXXはクロスファイバー（X-ファイバー）テクノロジーをベースに開発されました。サンゴバン Saint-Gobainグループによって開発、改良を重ね特許を取った技術です。

通常のファイバー製品は上下、左右のファイバーの方向ですが、X-ファイバーはキューブの中での繊維の方向があらゆる方向に向いています。

それにより、発根当初は下方への発育を促し、その後キューブの中で均一的な発育を促成します。度重なるリサーチの結果、苗の生育に大きなメリットがあることがわかりました。さらに、X-ファイバーを使用した製品は、キューブもスラブと呼ばれるマットも耐久性に関しても非常に高いことが証明されています。



カルチレン社のルートマックスを選ぶ理由：

- ・最低でも一株あたり根の量が5%アップ
- ・キューブ底からはみだす根の量が20%減少
- ・乾燥時、濡れた状態でのキューブの強度がアップ
- ・X-ファイバー構成により、プラグからキューブへの根の張りが良い
- ・含水量の上と下部での差、EC、pHが従来より低め
- ・再浸透に優れており、トマト栽培において制御が均一
- ・マットでの生殖成長期間に移ってからコントロールも引き続き容易
- ・ファイバー構成により、定植穴近辺も安定
- ・キューブ底部からはみ出す根が減ることにより、ダメージが減少
- ・同時に病原菌などの感染を制御

